

2024年 秋号 2024 10/15 発行

JAPAN INTERNATIONAL FRIENDSHIP ASSOCIATION
〒160-0023 東京都新宿区西新宿1-19-8新東京ビル10階
TEL&FAX 03-5989-0814 <https://www.word.jifa.org>

クアンチ省平和式典に協力 ダナン・フエでも音楽交流

民族通信・文化研究学院ハイン学院長のアレンジによりベトナム・南中部クアンチ省の平和祭典の音楽祭に招待され、クアンチ省はじめベトナム中部の諸都市を訪問しました。ベトナム各地で演奏活動・指導に取り組むケイコ・ボルジェソン氏はじめラジオパーソナリティとして活躍されるシュウ・クニヒロ氏、舞踏家の浪江倫子氏、和琴奏者の高谷秀司氏、池田節子JIFA会長などが訪問団に加わりました。ダナンでは16日にAPEC広場の野外音楽ホールで、フエでは17日にインドシナパレスホテルロビーで演奏活動を行いました。池田会長の365歩のマーチは来場者も一緒に盛上がりしました。国民の敬愛するグエン・フー・チョン書記長が19日に亡くなられ、残念ながら平和祭典音楽会は中止となりましたが、一行は傷病者・戦没者の慰霊式典、激戦地であったタックハン川の燈籠流しに参加し、祈りを捧げることができました。(伊瀬)



平和祈念 灯ろう流しなどに参加 (タックハン川・ヒエンルオン橋)

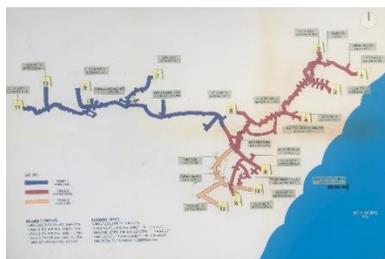
クアンチ省では各地で傷病者・戦没者を悼み、平和を祈念する行事が開催されます。19日、タックハン川の灯ろう流しに日本代表団として参加。退役軍人団のすぐ後に代表団が紹介され、平和の祈りを込めて灯ろうを流しました。



1954年のジュネーブ協定によって北緯17度線で分断された軍事境界線の象徴の橋。手前の青が北、黄は南。分断は2年間で終わると思われたが、21年間、1975のベトナム統一まで続いた。その間ヒエンルオン橋は多くの悲劇を見た。以後、この橋は、平和と統一の希望のシンボルとなりました。

6年間・7トン/人の爆弾投下 に耐えぬき 抵抗した歴史遺産 (ビンモック地下壕)

ビンモック(Vinh Moc)の地下壕は中部クアンチ(Quang Tri)省ビンリン(Vinh Linh)郡ビンタク(Vinh Thach)村ビンモック(Vinh Moc)地区にあります。この地下壕はフランスとの戦争のあとの1954年のジュネーブ協定によってベトナムが南北に分裂された北緯17度線の軍事境界線、ベンハイ川の北側にあります。地下壕は全長42km、深さが①8-11m、②11-15m、③15-23mの三層に張り巡らされています。爆撃から住民を守り、約4年にわたり住民約100人が暮らしたそうです。集会場や家族の部屋などが整備されており、分娩室では17人が産まれたそうです。(この地域にベトナム戦争6年間に投下された爆弾は住民1人当たり約7トンと推定されています)



地下トンネル網(全長42km)



地下分娩室



地下壕への入口



地下での生活を展示



Bomb展示館
(各種爆弾を展示)

ハノイからの留学生 日本での新生活スタート

ハノイで教えていた生徒(アインさん19歳)が留学のために来日されましたので早速会ってまいりました。

あらかじめ日本のことを勉強をしてきているとはいえ、来日する人すべてが日本のルールを熟知しているわけではありません。日常生活でわからないことがある時、かなりのストレスになる方もいます。



電車を待つアインさん

日本での生活に慣れるよう、アインさんには様々なお店での買い物や電車にもチャレンジしてもらいました。

電車の乗車券を買うために画面をタッチし硬貨を入れる練習をしました。改札で切符を通し受け取ってホームへ。初めての電車にとっても嬉しそうなアインさんです。降車後、改札で切符が戻らないので戸惑う場面も。楽しいチャレンジの時間が終わり、彼女と別れたあとに連絡が。

と同時に、海苔とご飯が分かれた写真が送られてきました。コンビニおにぎりの食べ方を教えていなかったので私は少し申し訳なく思いました。その後1週間ほど経った頃、「1人で電車に乗れました！」とメッセージが届きました。嬉しいですね

日本ではひらがな・カタカナ・漢字・アルファベットの4つの文字がつかわれており、取扱説明書などあらゆるものが難しく感じられると思います。そのような言語の壁も取り払えるように今後もサポートしていけたらと思います。

これからも、来日した教え子たちが日本の生活に慣れるまで成長を見守っていくつもりです。
(更井さおり)

新宿区多文化共生連絡会で他団体と交流

JIFAのある新宿区では、外国人の在住比率が高いという地域の需要があり、127の多文化共生推進施策を推進しています。その施策の中核となる多文化共生プラザでは定期的に、外国人支援活動等をすすめる団体、学校、個人の連絡会を開催しており、当会も参加し交流の幅を広げています。

9月に開催された連絡会では、地元大久保図書館の米田雅朗館長から、各国語の書籍をそろえ、さまざまなワークショップを開催し、母国が異なる参加者同士の交流を深めている貴重な経験が報告されました。

JIFAからは、学生ボランティアの皆さんと一緒に、無料日本語教室を開講し日本語教育や生活相談等を行っていること、ベトナムフェスティバルで取り組んだゲーム「オー・アン・クアン」を通じた交流の経験などを紹介しました。

10/5 Piano Festival in Japan に協力

Piano Festival in Japan が在日ベトナム大使館で、10月5日、約100人が参加して開催され、JIFAも後援しました。このイベントは、7月のクアンチ省平和祭典の報告とKeiko Borjesonさんのベトナムで青少年にピアノを普及させる活動の紹介を兼ねて企画されたものです。Keikoさんのイマジン♪のピアノ演奏にあわせて舞踏家浪江倫子さんの踊り、Shu Kunhiroさんのベトナム語の唄などが披露されました。また、日本の小学生のピアノとヴァイオリン演奏もあり、なごやかな集いとなりました。

翌日には、ホーチミンでKeiko Borjesonさんの主催するイベントが開催され、ピアノを学ぶ多くのベトナムの子ども達との交流が実現したそうです。



Keiko Borjesonさん

浪江倫子さん



会員・寄付者・支援者 募集しています

一人でも多くの方に会員になっていただき、活動へ参加いただけるよう 皆様をお誘いください！

	入会金	年会費(一口)
法人会員	30,000円	30,000円
個人正会員	10,000円	10,000円
個人賛助会員	5,000円	5,000円
学生会員	500円	1,000円

入会・学資支援
等申込フォーム



※支援金 学資支援 (1口 10,000円/年・人)
ウクライナ支援 (任意)

会費・支援金等は振込口座をご利用下さい
口座名：特定非営利活動法人 日本国際親善協会
☆ゆうちょ銀行からゆうちょ銀行 記号10150 普通98253761
☆他の銀行からゆうちょ銀行 店番 018 普通 9825376
☆三井住友銀行新宿通支店 店番 661 普通 7274362

認定NPO 日本国際親善協会(JIFA)

認定NPO 日本国際親善協会

〒160-0023 新宿区西新宿1-19-8 新東京ビル10階
TEL & FAX 03-5989-0814 <https://www.word.jifa.org>

